

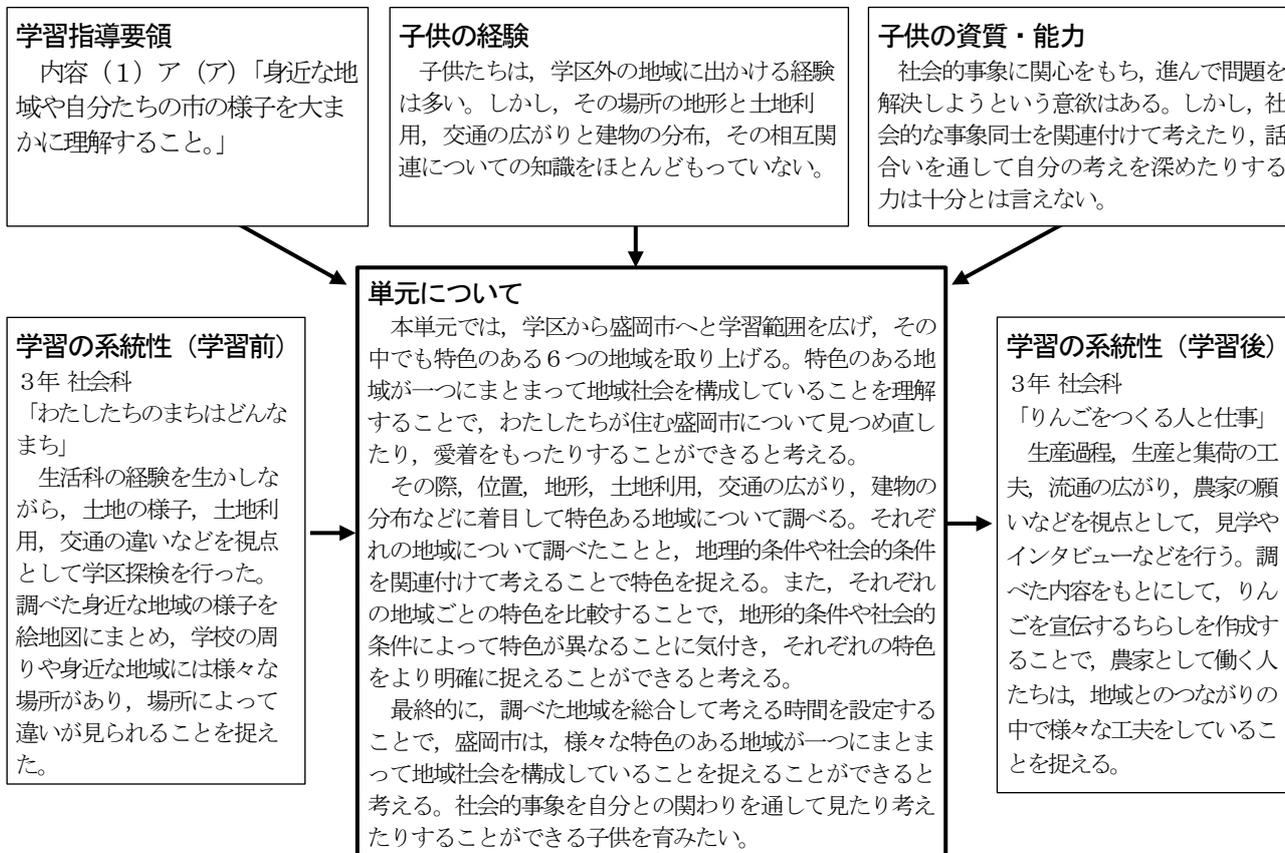
第3学年 社会科学学習指導案

場 所 3年3組教室
 児 童 男16名 女12名 計28名
 指導者 三 浦 一 太

1 単元名

もっと知りたいみんなのまち わたしたちの市の様子

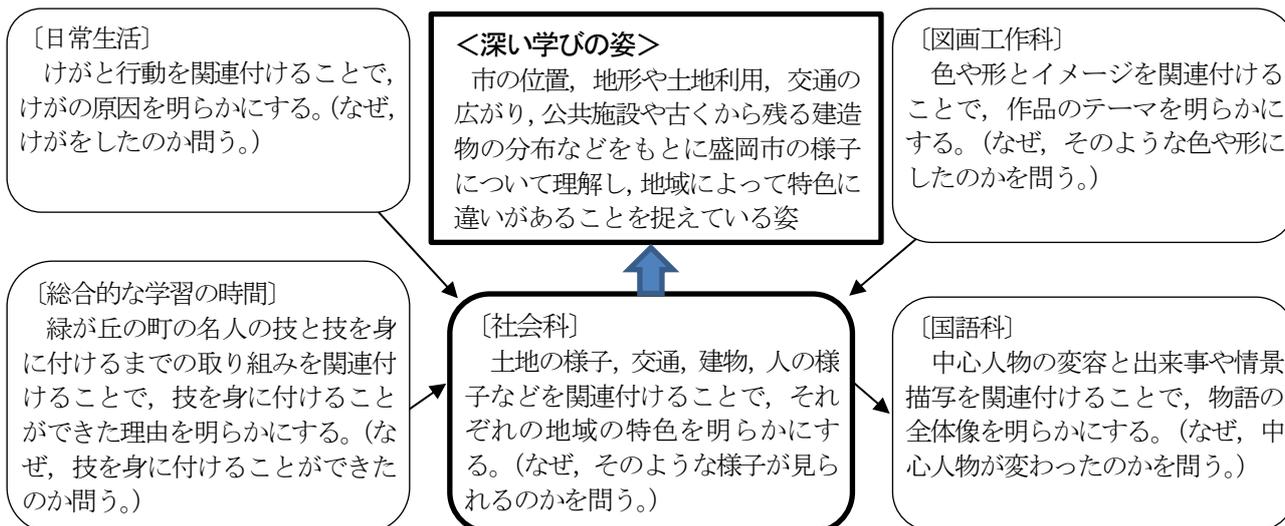
2 単元の指導構想



3 指導にあたって

そこで、『豊かな社会や未来の在り方を求め続ける子供』の育成と、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

視点1 教科等間の『考えるための技法』の活用・発揮



視点2 深い学びの実現に向かう単元構成

子供が、複数の立場や意見を踏まえた考察をもとに、社会的事象の意味を捉えたり、社会の発展や今日的な課題の解決策を考え判断し続けたりすることができるよう、次のように単元を構成する。

- 盛岡市の地域ごとの特色を比較しながら捉えることができるよう、単元の柱となる社会的事象の見方・考え方として、特に「位置や空間的な広がり」における「位置」「地形」「土地利用」「交通の広がり」「建物の分布」を位置付ける。
- 単元の導入では、学区内から市内へと地域を広げて学習していく意欲を高めるために、前単元で学習した緑が丘小学区の特色ある地形、土地利用、交通の広がりなどを確認し、その後、市内の空中写真等を提示する。緑が丘小学区と比較を促し、子供の気付きや疑問をもとに、単元の学習問題を設定する。
- 盛岡市の様子は多様であることを総合的に捉えたり、それぞれの地域の特色を捉え直したりすることができるよう、市の様子をポスターにまとめて紹介し合う場面を位置付ける。

視点3 単位時間の考える活動の充実

- 本単元に位置付けた社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を進めることができるように、資料の一部を隠すまたはアップにするなど資料提示の工夫をしたり、「前に学習した地域と交通の様子で違いはあるか。」など比較を促す発問を設定したりする。
- 地域の特色を地理的条件や社会的な条件と関連付けて捉えることができるように、「なぜ、太田地区には田が広がっているのか。」や「なぜ、盛南地区に住む人が多くなっているのか。」などの発問をする。
- 地域の特色を読み取った根拠となる資料やそれをもとに考察したことが明確になるよう、資料と資料、資料と読み取った事実、事実と見いだした考えのつながりを構造的に板書にまとめる。

4 単元の指導計画

(1) 目標

- 場所ごとの特色など盛岡市の様子を大まかに理解するとともに、調査活動や地区帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめることができる。【知識及び技能】
- 盛岡市の場所ごとの様子を比較したり、土地利用の様子と地形的な条件や社会的な条件を関連付けたりして、市内の様子は場所によって違いがあることを考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 盛岡市の様子について、自分自身の経験やこれまでの学習をもとに予想を立て、調べる視点をもって意欲的に調べたり、学習したことや学び方を振り返りこれからの学習に生かそうとしたりする。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 県内における盛岡市の位置、盛岡市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて、観察・調査したり、地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、盛岡市の場所ごとの特色を理解している。 ② 調べたことを白地図やポスターなどにまとめ、盛岡市全体の大まかな様子を理解している。	① 県内における盛岡市の位置、盛岡市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、地理的条件や社会的条件と関連付けながら盛岡市の様子について考え、表現している。 ② 盛岡市の場所ごとの様子について調べた特色を比較したり、市全体の様子を総合したりして場所による違いを考え、表現している。	① 盛岡市の様子について、自分自身の経験やこれまでの学習をもとに予想を立て、学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことや学び方を振り返り、これからの学習に生かそうとしている。

(3) 指導計画 (12時間)

段階	主な学習活動	指導の手立て	考えるための技法【視点】	評価規準 (評価方法)
問題の把握	1 盛岡市の空中写真を見て、盛岡市の様子や緑が丘小学区と比べて気付いたことについて話し合う。 ・ 緑が丘小学区と違うところがたくさんある。 2 地図を見ながら八方位を使って市の広がりを考える。 ・ 八方位を使うと位置関係が分かりやすい。	・ 建物や緑が多い場所など土地利用に着目することができるように、緑が丘小学区の写真を提示したり、前単元の学習を想起するよう促したりする。 ・ 八方位について理解することができるように、四方位を確認したり、八方位名は北と南を先にして合わせて読めばよいことを助言したりする。	・ 比較する 盛岡市と緑が丘小学区の様子を比較し、相違点を捉える。 ・ 関連付ける 盛岡市とその周辺の市や町の位置を関連付けることで位置関係を考える。【位置】	・ 盛岡市の様子について、緑が丘小学区との違いを考え、表現している。 【思①→発言、ノート】 ・ 県内における盛岡市の位置や隣接する市や町との位置関係を理解し、八方位を使って表現している。 【知①→発言、ノート】

<p>第一次</p>	<p>3 盛岡市の特色がある場所の写真を見て気付いたことや疑問に思ったことをもとにして学習問題を設定し、予想から学習計画を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡市は、場所によってどのような特色があるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題について解決の見通しをもつことができるように、前単元で緑が丘小学区について調べた視点を想起し、それをもとに予想を立てるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連付ける 前単元での課題解決の視点と本単元の学習を関連付け、学習問題に対する予想と解決の見通しをもつ【地形、土地利用、交通の広がり、建物の分布】 	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市の特色ある場所の写真を見て話し合ったことをもとに学習問題をつくり、表現している。 【思①→発言、ノート】 単元の学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。 【態→発言、ノート】
<p>わたしたちが住む盛岡市は、場所によってどのように違うのだろう。</p>				
<p>問題の追究</p> <p>第二次</p>	<p>4 空中写真や地形図をもとにして、市全体の土地の使われ方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東側は土地が高く、西側は低くなっている。土地の使われ方も場所によって違いがある。 <p>5 市役所の周りの様子を調べ、その特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所の周りは、色々な役割をもった建物が多くあるので、人も多くにぎやかである。 <p>6 住宅が多い所を調べ、その特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅が多い所は、平らな土地で駅や大きな道路につながっていたり、店が多くあつたりして人が住みやすくなっている。 <p>7 田畑の多い所を調べ、その特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 田畑の多い所は、平らな地形や川の水を活かして、農作物を育てている。 <p>8 盛岡駅の周りの様子を調べ、その特色を考える。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅の周りは、交通が発達していて、人の往来が多く、ホテルや店などの建物も多いのでにぎやかである。 <p>9 山間の土地について調べ、その特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山間の土地は、豊かな自然を生かして、キャンプやわかさぎ釣りを楽しめる場所をつくっている。 <p>10 古くから残る建物がある所の様子について調べ、その特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡には古くから残る建物が多くあり、イベントに活用したり観光地となったり、人々に親しまれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡の地形的な特徴を捉えることができるように、地図と写真を対応させながら板書に位置付ける。 公共施設などの建物と人の様子を関連付けて考えることができるように、それぞれの建物の役割について目を向けて考えるように、「なぜ市役所の周りには人が多いのか」問う。 住宅の多さと人口の移り変わりを関連付けて考えることができるように、「なぜ住宅が増えてきたのか」問う。 地形の特徴を生かした土地利用の工夫を考えることができるように、「なぜ太田地区には田が広がっているのか」問う。 交通と建物、人の様子を関連付けて盛岡駅周辺の様子を考えることができるように、「なぜ多くの人が盛岡駅を訪れるのか」問う。 地形と豊かな自然を生かしている様子を考えることができるように、「なぜ観光客が多いのか」問う。 古くから残る建物について具体的に捉えることができるように、パンフレットや景観写真を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較する 写真や地図上で方位ごとの地形や土地利用を比較することで、場所ごとによる違いを捉える。【地形、土地利用】 関連付ける 建物の分布と交通、人の様子を関連付けることで、内丸地区の特色を捉える。【建物の分布、交通の広がり】 関連付ける 建物の分布と交通、人の様子を関連付けることで、住宅が多い所の特色を捉える。【地形、建物の分布、交通の広がり】 関連付ける 地形や河川といった自然条件と土地利用を関連付けることで、田畑の多い所の特色を捉える。【地形、土地利用】 関連付ける 交通網の広がりや人の様子、建物の分布を関連付けることで、盛岡駅周辺の特色を捉える。【交通の広がり、建物の分布】 関連付ける 地形と建物の分布、人の様子を関連付けることで、山間の土地の特色を捉える。【地形、建物の分布】 関連付ける 建物の分布と人の様子を関連付けることで、古くから残る建物がある所の特色を捉える。【建物の分布】 	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市の土地の高さや広がりについて、地形図や写真資料からその様子を調べ、市全体の土地の使われ方を理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図等をもとにして調べ、市役所の周りは、大きな建物や市・県・国の公共施設が集まっていることを理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図、グラフ等をもとにして調べ、住宅が多い所は、広い土地があり大きい道路が整備され、店が多いことを理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図等をもとにして調べ、田畑が多い所は、地形・河川などの自然条件を生かして、農作物を育てていることを理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図等をもとにして調べ、盛岡駅周辺は、交通網が集中し、人の行き来が多く、店やホテルなどの建物が多いことを理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図、グラフ等をもとにして調べ、山間の土地は、豊かな自然を生かし、地形にあった土地利用を行っていることを理解している。 【知①→発言、ノート】 写真や地図等をもとにして調べ、古くから残る建物の位置や分布、それらの由来や成り立ちを理解している。 【知①→発言、ノート】
<p>まとめ</p> <p>第三次</p>	<p>11 これまで学習してきた場所ごとの特色について、地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の東側には山地が広がり、西側には北上川がある。盛岡駅の東側には住宅が集まっている。土地の高い所でりんごがつけられている。 <p>12 地図をもとに市を紹介するポスターをつくり、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡市は、緑が丘小学区と同じように場所によって違いがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市の様子を大まかに捉えることができるように、「調べてきた場所ごとの特色はどのようなものだったか」、また、「その場所は市内のどこに位置しているのか」問う。 単元全体の学習の振り返りができるように、ノートや掲示物をもとに地域ごとの特色を比べたりや学習問題について考えるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合する これまで調べてきた情報や資料を整理し総合することで、盛岡市の大まかな様子を捉える。【地形、土地利用、交通の広がり、建物の分布】 比較する これまで学習してきた場所の特色を比較することで、盛岡市には場所によって違いがあることを捉える。【地形、土地利用、交通の広がり、建物の分布】 	<ul style="list-style-type: none"> 学習してきたことをもとに、盛岡市の地図をつくり、市の様子について理解している。【知②→発言、ノート】 盛岡市の場所ごとの特色を地図や短い文章でまとめ、場所によって違いがあることを表現している。 【思②→発言、ノート】 学習したことや学び方を振り返り、これからの学習に生かそうとしている。【態→発言、ノート】

5 本時の指導計画

(1) 目標 (活用する「考えるための技法」・比較するまたは関連付ける)

交通網の集中と人の往来の多さや建物の分布を関連付けて考え、盛岡駅周辺の特色について理解することができる。 【知識及び技能】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
盛岡駅周辺の様子について、交通機関の種類や交通網の広がりや店やホテルなどの建物の分布を人の往来の多さとつなげて捉えている。 【知識・技能】	盛岡駅周辺の特色に気付くことができるように、交通機関や建物の種類に目を向けるように促したり、盛岡駅周辺にはなぜ多くの人がいるのか問うたりする。

(3) 展開

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援 (◇評価)	資料等
導入 (5分)	1 本時の学習問題を把握する。 盛岡駅のまわりは、どのような様子なのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡駅周辺の様子について関心を高めて学習問題を設定することができるように、写真を提示して何が分かるか問うたり、単元の学習計画を確認したりすることを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡駅の写真
展開 (33分)	2 予想する。 <ul style="list-style-type: none"> 鉄道が通っている。 } 交通の様子 バス停がある。 } 人の様子 人がたくさんいる。 } 建物の様子 店がたくさんある。 } ホテルがある。 } 3 盛岡市周辺はどのような様子なのか調べ、調べたことを伝え合う。 〈交通の様子について〉 <ul style="list-style-type: none"> 6つの鉄道が乗り入れている。 バスやタクシー乗り場がある。 〈人の様子について〉 <ul style="list-style-type: none"> 会社や学校へ通う人、買い物客、観光客などで、とても混雑している。 〈建物の様子について〉 <ul style="list-style-type: none"> デパート、ホテル、専門店が多い。 マリオスやアイーナなど、高い建物が多い。 4 調べたことをもとに、なぜ多くの人を訪れているのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> 鉄道やバスが集まっているから、それを利用するために人が訪れる。 店やホテルなどが多いから、それを利用するために人が訪れる。 盛岡駅を利用する人は、県内外から訪れている。 内丸地区と同じように人が多くてにぎやかだけど、人が集まる理由に違うところがある。 緑が丘のまちにもバス停があるけれど、利用する人数が違うから、バスの本数も違う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持つことができるように、予想に対する考えを「交通の様子」「人の様子」「建物の様子」に分類し、整理して板書する。 生活経験や既習など根拠を明確にすることができるように、なぜそのように考えたのか問う。 考えの根拠を明確にすることができるように、どの資料のどの部分から言えるのかを問う。 交通、建物、人の様子の関連付けを整理して考えることができるように、訪れる人の交通手段、駅を利用する目的、どこから来たのかなどのつながりを板書で見える化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副読本 盛岡駅周辺の地図 岩手県内の利用者数が多い駅 (絵グラフ) バスの時刻表
まとめ (7分)	5 本時の学習を振り返る。 盛岡駅のまわりは、盛岡駅を中心に鉄道やバスなどが集まっていたり、ホテルや店などの建物が多かったりするので、それらを利用するために多くの人を訪れてにぎやかな様子である。(ほかの地域と比べると、様々な乗り物を利用するために多くの人が集まっている所が違うと思った。)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合ったことをもとに自分の考えを再構成できるように、板書をもとに学習を振り返りもう一度学習問題に対する考えをまとめることを促す。 考える技法を使うことで問題解決につながったことを自覚することができるように、交通の様子、人の様子、建物の様子を関連付けたり、他の地域と比較したりして特色を見出したことを価値付ける。 ◇ 盛岡駅周辺の様子について、交通機関の種類や交通網の広がりや店やホテルなどの建物の分布を人の往来の多さとつなげて捉えている。 【知 発言・ノート】	

